

漫湖水鳥・湿地センター

たより

2008年2月15日発行

No.55



漫湖水鳥・湿地センター イベント 世界湿地の日 2008

「特別!! 漫湖観察会」

2月2日(土)、世界湿地の日にちなんでセンターでは、漫湖観察会を開催しました。

講師の先生も4人といつもよりも多く、マングローブ探索と野鳥観察のグループに分かれ、各グループとも豊見城城址見学とそれぞれの分野の観察会を行いました。城址見学は、いつもと違う漫湖の姿を見てもらおうと計画したもので、上から漫湖の全体が見渡せる絶好のポイントです。普段は、入ることのできない城址内ですが、今回のために特別に許可をいただきました!!



スペシャルバスガイドさん(講師の先生方)に案内され、豊見城城址に向かいます。中はとても広く、バスで奥まで進みました。

豊見城はハーリー発祥の地と言われていて、ハーリーを行う時にここで「御願(うがん)バーリー」(願い)が今でも行われているよ☆昔は、与那国馬もここで飼われていたんだよ☆など色々な話を聞くことができました。



やっほ〜!!

漫湖ってこんなに大きかったんだ!?

山城先生は、漫湖の今と昔の様子の違いや、三角池と漫湖や具志干潟の距離など、鳥達から見た漫湖をわかりやすく紹介してくれました。

高台から漫湖を眺めてみると、遠く感じる漫湖〜具志干潟も鳥からしてみれば「一飛びなんだなあ」と感じました。鳥よりも低めの目線ではありましたが、マングローブ林の広大さや、澄んだ空気を吸っている気分を肌で感じる事ができ、よい体験ができました。



高い場所に、広い芝生。子どもたちは、じっとしてられないようで、走ったり、でんぐり返し競争をしたりしておおはしゃぎでした。初めて中に入ったという人も多く、多くの方から「また来たいなあ。」という感想を頂きました。



マングローブ探索グループ



講師の先生は、



藤井 晴彦先生

と



米谷 保彦先生

です。

センター前の芝生で、マングローブ林に住んでいる生き物の写真を見ながら説明を受けました。水が嫌いな貝の話や、白いもこもこしたキノコの写真をみて、子ども達の好奇心が膨らみます。ここからは、更に2つのグループに分かれて出発です☆



色んな生き物いるからね!!面白いよお

カニいるかな??キノコはいいよお〜。

手作りの橋を渡ったり、泥に足をとられながらマングローブ林の中を進んでいきました。水が嫌いな貝がマングローブの木にいっぱいくっついていまし



た。オレンジ色のきのこも見つける事ができました。



泥にはまった子もいましたが、ケガもなく帰って来ることができました。



野鳥観察グループ



講師の先生は、



山城 正邦先生

と



新城 公次先生

です。

グループ分けの時に渡された「ねいちゃービンゴゲーム」と双眼鏡を両手に持ち、干潟へ向かいます。観察会のために、朝早く中部から来られた参加者もいて、やる気満々です!!双眼鏡の使い方もバッチリです。



漫湖で見れる鳥について面白可笑しい説明付で、参加者の笑いは絶えません。

「ズグロカモメって珍しいんだよ!!頭が黒いから「ズ(頭)グロ(黒)カモメ」♪でも〜!!冬羽は頭が黒くないから「ズークロクナイ!!カモメ」♪」です!!と新城先生。(左写真) みなさん、とても、楽しい時間を過ごせた様です☆



ビンゴゲームで、上位に着いた本人(息子さん)よりも嬉しそうなお父さん!ポーズまでとってくれました☆



漫湖水鳥・湿地センター イベント 世界湿地の日 2008 「企画展示」の紹介

湿地やラムサール条約のこと、そして、日本各地のラムサール条約湿地を知ってもらおうとパネル展示会を開催中です!!(2月17日まで) みなさん、ぜひ見に来て下さい☆



ボランティアのみなさん

子ども用の展示を作成しました!! 子ども目線で文章を考えるのが難しかったです。

ラムサールの場所紹介

毛糸や折り紙などを使って職員で作成しました☆→



多くの団体の方々に協力して頂き、展示が完成しました↓



漫湖水鳥かわら版 55

～1月 冬鳥はたくさんいるけれど・・・～

1 月		羽数	先月との比較					
ダイサギ	6	→	バン	1	→	ダイシャクシギ	12	↑
チュウサギ	6	→	ムナグロ	91	↓	ホウロクシギ	1	↑
コサギ	6	↓	ダイゼン	19	→	チュウシャクシギ	13	↑
アオサギ	18	↓	アカアシシギ	37	↑	ソリハシセイタカシギ	6	↑
クロツラヘラサギ	1	→	アオアシシギ	66	↑	ユリカモメ	1	→
オナガガモ	8	→	キアシシギ	2	↓	ズグロカモメ	7	↓
ミサゴ	6	↑	イソシギ	13	↓	カワセミ	1	→
オオバン	1	→	オオソリハシシギ	1	→	ハクセキレイ	4	↓
						合計	327	↓



2008年1月14日

琉球新報

昨年末、漫湖の近くの三角池や豊崎干潟でくちばしに釣り糸が巻きついたクロツラヘラサギが発見されました。

1月末にようやく保護されました。

このクロツラヘラサギは無事保護されましたが、人間の捨てたゴミで命を落とす野生生物は多くいます。私たちの行動を見直す必要があります。

クロツラヘラサギ保護

豊見城市豊崎 釣り糸切除、治療に全力

くちばしに釣り糸が巻き付いたクロツラヘラサギ（トキ科）が十三日夕、豊見城市豊崎の干潟そばのマンガロープの中で保護された。昨年十二月六日に確認されてから三十八日後の保護。保護されたクロツラヘラサギは、体重が通常の成鳥の半分以下の八〇〇gしかないなど、衰弱した様子を見せている。移送された那覇市内の動物病院で治療を受け、近く沖縄市の沖縄こども国に移送され、体力の回復を待って放鳥される。（23面に関連）

環境省は十三日から同市与根の第一遊水池（三角池）に設置したロケットネットでの捕獲作戦を開始した。しかしクロツラヘラサギは三角池に近寄らず、豊崎の干潟にとどまっていた。このため職員は投網を用いて捕獲を試みたが、保護できず、午後六時にいったん作業を終えた。しかし約十五分後、クロツラヘラサギが飛行の困難な浅みの中に入るのを山階鳥類研究所（千葉県）の職員らが確認し、五人で囲み込んで手づかみで捕獲した。

クロツラヘラサギは抗生剤などの点滴や注射を受け、巻き付いた釣り糸も切除された。くちばしは釣り糸の摩擦で数センチ程度削れていた。移送された病院の高良淳司獣医師会野生生物保護対策委員会委員は「衰弱が激しい」と、予断を許さない状態を説明した。

＊＊自然観察会 春の野鳥観察＊＊

- ＊日 時：3月1日（土） 14：00～16：00＊
- ＊集合場所：漫湖水鳥・湿地センター＊
- ＊対 象：小学生1年生以上（低学年は保護者同伴）＊
- ＊定 員：30名 ※要予約（先着順）＊
- ＊費 用：保険料として100円（当日徴収）＊
- ＊持 ち 物：軽装・帽子・タオル・飲み物・筆記用＊
- ＊講 師：比嘉 邦昭 先生＊



双眼鏡・図鑑はセンター
より貸し出しします☆

2月16日より受付開始!!
お問い合わせは、
漫湖水鳥・湿地センター
TEL: 098 (840) 5121

漫湖水鳥・湿地センター イベント 世界湿地の日 2008

「世界湿地の日 企画展示」

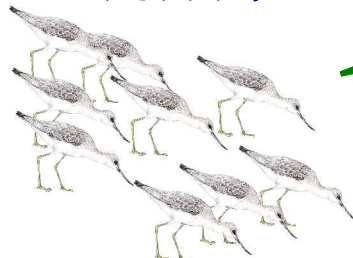
「つながる湿地 つなげるラムサール」をテーマに2月17日（日）まで1Fの企画展示コーナーでパネル展示を行っています。子どもたちにもよく知ってもらいたいという思いから、ボランティアさんの協力を得て、子どもたち目線のパネルも用意しました!!親子で・友達と♪気軽にセンターまで来て下さいね☆

- ＊＊日 時：2月2日（土）～2月17日（日） 開館時（午前9：00～午後5時まで）＊＊
- ＊＊場 所：漫湖水鳥・湿地センター 1階 企画展示コーナー＊＊

1月の利用団体

保育園・幼稚園	地域
とよみ幼稚園	豊見城市
医療・福祉関係	
ディサービス虹の家	那覇市

アオアシシギ



今月の団体利用者数
→36人

今月の入館者数
→1,086人
総入館者数
→93,666

キョウジョシギ
見たいなあ・・・



＊＊編集後記＊＊

僕たち沖縄で栄養補給してる
のさ!!見つけてみてね☆

通信を作成してみてビックリ!!!1月は、団体さんが少なかったんですねえ。そういえば、静かな毎日だった気がしなくも...

2月2日、たくさんの方の協力を得て、湿地の日を無事迎える事ができ、ホッとしております。イベントも参加者の方に「この行事だけでいい!!」と言われるぐらい満足していただけたようで、嬉しいです。展示コーナーもじっくり見学してくれてる人を見ると嬉しくなりますね。作品を創るのはこれだからやめられません(笑)

久高 萌

漫湖水鳥・湿地センター

豊見城市字豊見城 982 TEL: (098)840-5121 FAX: (098)840-5118

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)慰霊の日(6月23日)、年末年始(12月29日～1月3日)

URL: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/